\ HOW TO USE / \setminus HOW TO USE /

さまざまな事業に活用しています

一子 育 て 支 援



おいしい 「伊豆市特別栽培米」を 学校給食へ提供 240元円

地元の高級旅館で提供されている「伊豆市特別栽培米」は 減農薬・減化学肥料で栽培され、厳しい基準をクリアした安 心・安全で質の高いお米です。伊豆市内の学校給食で使 用する精米を地元栽培米にすることで、さらなる学校給食の 充実を図ります。地産地消を推進するとともに、子ども達の 郷十愛を育む食育活動につなげます。



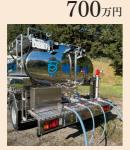


生 活 支 援



災害・漏水時のための車両一体型

昨今、災害に対するレジリエンスが重要視 されています。断水を伴う大規模な災害や した家庭用飲料水の応急給水を行うため に「車両一体型給水タンク |を購入します。 加圧式ポンプが搭載されているため、 病院・福祉施設などの高所に設置されて いる受水槽への給水も可能です。



一子育て支援



ALT(外国語指導助手)が、

外国語指導助手(ALT)7人を市内保育 園・こども園・小学校・中学校・義務教育 学校に派遣します。子どもたちが生きた英 語に触れられる機会を創出し、外国文化 や生活習慣を体感することでコミュニケー ション能力の育成や国際理解を高めます。 授業以外の休み時間や給食の時間にも ALTが児童・生徒と交流します。



ーまちづくり



自転車(サイクリング)文化を

880万円

「東京2020オリンピック・パラリンピック 競技大会」開催をきっかけに、伊豆市では 市民と来訪者が自転車を利用する"自転 車を軸としたまちづくり"を進めています。 大会の成果を未来につなげる(レガシー) のための取り組みを行い、自転車(サイクリ ング) 文化が市民の心や生活・文化に 根付く事業を実施します。



まちづくり



「狩野川記念公園」の夜間照明を LED化

1.410ън

夜間照明をLED化することで、電気料金 と電気設備点検料の削減が行えます。 また、水銀灯ランプが令和3年以降製造・ 輸出入禁止となり、今後は水銀灯の交換 が難しくなることが予想されます。伊豆市で は野外社会体育施設の夜間照明LED化 工事を順次推し進め、スポーツを通じての 市民交流を拡げていきます。



| | 選べる寄附の使い道

令和6年の寄附金の使い道はこちらの事業からお選びいただけます。

- 1 未来をひらく子どもたちを応援する事業
- 2 安全・安心な生活環境の創出に関する事業
- 3 魅力ある観光地域づくりに関する事業
- 4 農林水産業及び商工業の振興に関する事業
- 5 歴史・文化資源の活用及び芸術・ スポーツ振興に関する事業
- 6 活力ある元気な地域づくりに関する事業

 - 6-1 湯ヶ島地区地域づくり協議会 6-2 西豆地区地域づくり協議会
 - 6-3 土肥・小土肥地域づくり協議会 6-4 伊豆やつおか地域づくり協議会
 - 6-5 熊坂小学区地域づくり協議会 6-6 月ヶ瀬学区地域づくり協議会
 - 6-7 大東地域づくり協議会
- 6-8 中大見地域づくり協議会
- 6-9 東小学区地域づくり協議会

みなさまのご厚意に感謝して

ふるさと納税の使い道

伊豆市では、皆さまからご厚意いただいた寄附金をより魅力的なまちづくりや子育て支援、暮らしの支援などに活かしています。 令和6年には、防災と観光の機能を兼ね備えた全国初となる「津波避難複合施設」の整備に活用させていただきました。

●令和5年度 寄附金額のお知らせ



8,640件

3附 1,185,583,900円

令和5年度

寄附金を活用した 事業の一例

全国初!「防災 |と「観光 |の機能を兼ね備えた 津波避難複合施設が土肥エリアに完成しました。

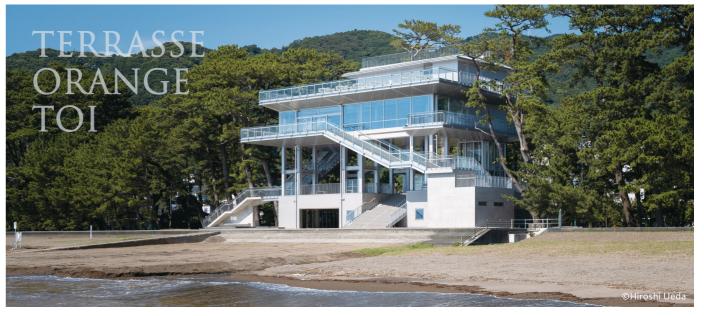


海で遊ぶ観光客や地域住民を津波の脅威から守り、平常時には遊び、くつろぎ、交流で きる津波避難複合施設『テラッセ オレンジトイ』が令和6年7月にオープンしました。 松原公園と海岸に直結する1階では、土肥の特産品や飲み物などを販売する特産市、 ソフトクリームやフルーツミルクなどを提供するカフェ、足湯を設けています。また、3階の 海への眺望の開けたレストランでは、地魚を用いた料理をお楽しみ頂けます。観光防災 のまちづくりのモデルケースとして大きな注目を集めています。

まちづくり

テラッセ オレンジトイ 津波避難 複合施設充当額 700万円





●伊豆市土肥2657-6 松原公園内 ●構造等:鉄骨造、地上4階建て(地上18.8m) ●避難スペースは3階以上(海抜14m以上)※津波浸水想定高10m+余裕高4m